



平成14年(2002年)  
12/5  
第998号

発行：小平市  
編集：企画財政部  
財政課  
〒187-8701  
小平市小川町二丁目  
1333番地  
☎042(341)  
1211(代表)

# 市報 こだいら

## 財政特集号

◇小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp> ◇電子メール [info@city.kodaira.tokyo.jp](mailto:info@city.kodaira.tokyo.jp) ◇こだいらテレホンガイド ☎042(342)1222

# 市制施行40周年を迎えて 小平市40年の財政を振り返る 決算書から見る市財政の今昔

市は平成14年10月、市制施行40周年という一つの区切りを迎えました。これを機会に小平市が誕生した昭和37年と現在の財政状況を比較し、市が抱えている財政的な問題を浮かび上がらせようという趣旨から、この40年間を決算書をもとに振り返ります。

今後も健全な財政運営に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 決算規模と人口

40年前の小平って  
どんなまちだった  
んだろう。



政太郎くん  
(小学4年生) 財子さん  
(母：市役所勤務)

決算書(※1)を  
調べてみましょう。

※1：決算書とは、地方自治法に基づき作成された、その1年のお金の出入りの報告書のことです。

### 昭和37年度 (1962年度)

〈歳入〉 6億 374万8,754円  
〈歳出〉 5億5,979万4,713円  
〈人口〉 70,634人 (昭和37年10月1日現在  
住民基本台帳より)

#### 〈時代背景と産業構造〉

高度経済成長を背景に東京に人口が集中し、小平も農村からベッドタウンへと姿を変えていく。市内の大規模工場が操業を開始したのもこの頃である。

参考：(昭和35年国勢調査)

産業構造：第一次8.8%、第二次33.4%、第三次57.8%

約80倍

約2.5倍

### 平成13年度 (2001年度)

〈歳入〉 491億1,170万4,166円  
〈歳出〉 477億9,137万8,951円  
〈人口〉 174,145人 (平成13年10月1日現在  
住民基本台帳より)

#### 〈時代背景と産業構造〉

平成不況を背景に日本全体が低成長時代を迎える中、小平市の収入も頭打ちとなる。同時に、高齢社会の到来という新たな課題も抱えている。

参考：(平成12年国勢調査)

産業構造：第一次1.0%、第二次23.7%、第三次72.8%

## 市税収入の状況

政太郎：へえー、市税の割合が昭和37年には69.3%もあったのに、平成13年には55.4%になっているね(右図)。13.9%も市税の比率が下がっているんだね。

財子：そうね。右肩上がりが増えてきた市税の収入が、不況や減税の影響でここ数年は横ばいになっているのよ(右中図)。

政太郎：人口が増えているのに平成13年の市税収入は10年前の平成3年と同じ位なんだね。

財子：これを見ても市の収入の中心である市税が伸び悩んでいることがわかるわね。

政太郎：市税の割合が減っていくとどうなるの？

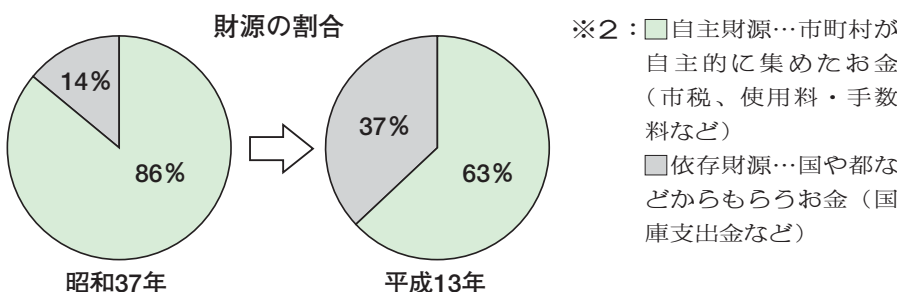
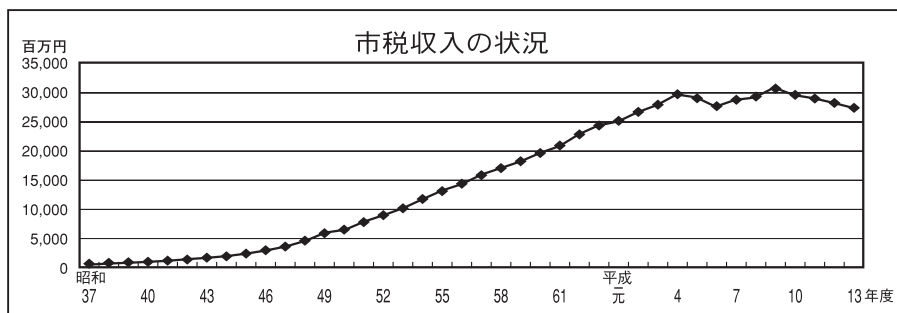
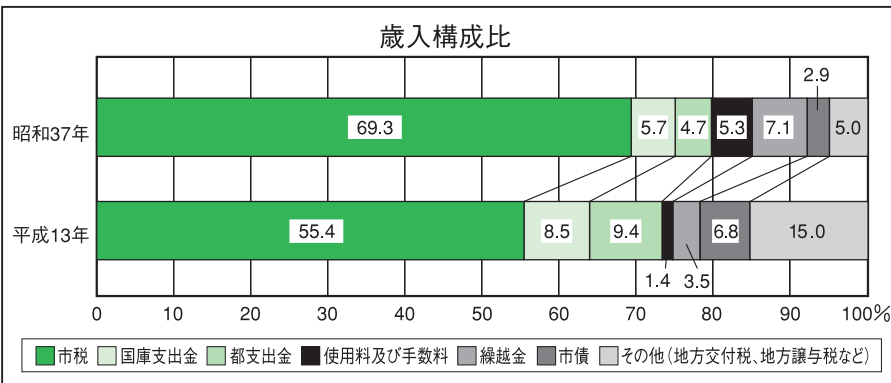
財子：市税の割合が下がると自主財源の割合が減るのよ(※2)。市が地域の実情に根ざした独自の政策を行うためには、使いみちを限定されない自主財源の比率を高めていくことが必要なの。

政太郎：今は昔に比べて自由に  
行える事業が少なくな  
ってきているんだね。



右肩上がりの昭和!

頭打ちの平成...



※2：■自主財源…市町村が自主的に集めたお金(市税、使用料・手数料など)  
□依存財源…国や都などからもらうお金(国庫支出金など)